

2017年8月、3代目の建物となる日本青年館が神宮外苑地区にオープン。日本有数の多目的ホールとして、ミュージカルからクラシック、ポップス、講演会など、幅広いニーズに対応する日本青年館ホールでは、LED照明を導入し、メンテナンスを含めた管理のしやすい照明環境と省エネを両立しています。

1925年、全国青年団員の募金により神宮外苑地区に開館した日本青年館。1979年に完成した2代目の建物は、日本のエンターテインメント業界に欠かせない存在として全国的にも知られています。今回、新国立競技場の敷地拡大に伴い移転し、2017年8月にグランドオープンした建物は3代目。低層部が日本青年館ホール、中層部がオフィス、高層部が日本青年館ホテル(220室)の複合施設となっています。



【物件概要】

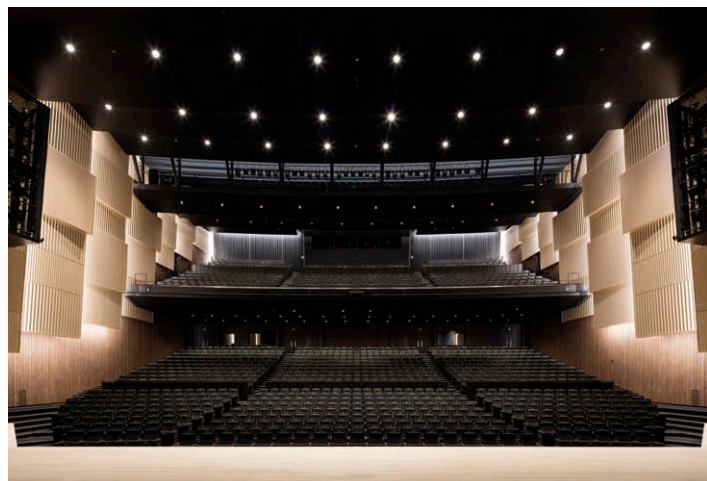
所在地：東京都新宿区霞ヶ丘町4-1
 構造・規模：鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造・地上16階、地下2階、塔屋1階
 客席数：1,249席（車いす席4席含む）
 プロセニアム：高さ9m、幅19m
 舞台奥行：音響反射板使用時14m（ホリゾン幕使用時13m）
 施主：一般財団法人日本青年館
 独立行政法人日本スポーツ振興センター
 設計：株式会社設計
 施工：建築/株式会社安藤・間
 電気/東光電気工事株式会社
 竣工：2017年7月

S457

多様なニーズ対応のホールとして照明環境を整備、歴史ある劇場として格調高い光空間を創出。

日本青年館ホールは、ミュージカル公演、音楽コンサートから講演会まで、多様なニーズに応えるホールであり、同時に、長い歴史を持つ青少年活動の拠点としての役割も担っています。そのため、客席照明はLEDシアター用ダウンライトと、温白色のLED屋内用ライン器具を使用した間接照明により、落ち着いた品格を備えた光空間を創出。0～100%の調光を備え、手元のパンフレットなどが見えるよう、最大の明るさを300～500ルクスに設計しています。

舞台照明は、公演ごとに異なる照明演出や持込機材にも対応するため、メンテナンスを含めた管理のしやすい照明環境を全体的に整備。音響反射板にはLEDシアター用ダウンライト6000シリーズを採用し、演奏者が楽譜を読みやすいよう最高1000ルクス（平均約700ルクス）の明るさを確保しています。また、各照明パトンはLED屋内用ライン器具を作業灯として装着し、パトンを降ろした際にも手元を照らす作業灯として利用でき、使い勝手を向上させています。



間接照明で壁面を効果的に演出したホール客席①



間接照明とLEDシアター用ダウンライトにより格調高い光空間を創出した音響反射板①



舞台袖操作盤



持込機器用電源盤



① LEDシアター用ダウンライト6000シリーズ AL-LED-ON-6-2S



② LEDスポットライト FORTEX Plus AL-LED-ASP-L

主な納入器具一覧

設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
ホール	① LEDシアター用ダウンライト6000シリーズ	AL-LED-ON-6-2S	60	消費電力：93W
	LEDシアター用ダウンライト6000シリーズ	AL-LED-ON-6-2	24	消費電力：93W
	② LEDスポットライト FORTEX Plus	AL-LED-ASP-L	32	消費電力：286W
	LED一体形ダウンライト	LEDD-21311WW-LD9 (改)	86	消費電力：18.6W
	LED屋内用ライン器具	LEDL-12501WW-LD9 (他)	390	消費電力：28.5W
	LED屋内用ライン器具	LEDL-12501WW-LD9	40	消費電力：28.5W
調光盤室	インテリジェント形調光器盤	PLUG-IN DIMSTAR III	1式	—
調光室	調光操作卓	LICSTAR-IV TypeJ	1式	消費電力：594W